

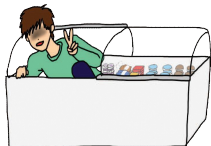
# ネット利用によるトラブル防止のために (内容はクロスワードのヒントにもなっています)

ネットは世界中とつながっています！その投稿も、知らないどこかで見られているかも。

●ネットの向こう側にいる相手の、本当の姿は分かりません。ネットの「知り合い」から『会おうよ』と言われても絶対に会ってはいけません。メールアドレスなど個人情報も教えてはいけません。

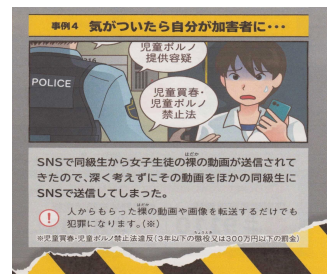


●世の中には「閲覧数をふやしたい」とか、「名前を書かなければ大丈夫」といった理由で、掲示板に乱暴な言葉を書き込む人がいます。しかし、ネットは完全な匿名ではなく必ず通信記録が残ります。また、ネット上でモラルを逸脱した人の個人情報が特定され、その後の人生（就職、結婚）に大きな影響が出たという話もあります。後悔しても後の祭。一度ネットにあげたものは完全には消せません。



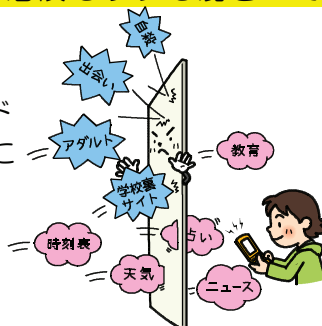
## 「児童ポルノ」の被害者にも加害者にもならないで！

●18歳に満たない人（男女とも）の裸の画像や動画は、撮ったり撮られたり、そのような画像を他の人に転送してもいけません。「面白いから」「ふざけて」「すぐ消すから」大丈夫、ではありません。水着を着たときに隠れる体の部位は、大事な場所なので、他の人から「見せて」「さわらせて」と言われても応じてはいけません（医者の診察は別）。



ネットは便利な道具、でも、中には危険もウソも混ざっています。

●危険なサイトに間違っアクセスしないよう、フィルタリング設定がされた機器を使いましょう。設定方法は、スマートフォンのOS（iPhone、アンドロイド）によっても異なるので、不安な時は販売店に聞きましょう。



【ネット利用に必要な力】



●非行防止教室などでも、ネットを使う前に  
・家でルールを決める（ペナルティも）  
・迷ったら大人に相談しアドバイスをもらう（または大人と一緒に使う）  
を指導しています。また、「今日は〇〇のことを調べる」と目的を決めてネットを使うなど、内容で目処をつける方法もあります。ルールをきちんと守るかどうか、その後の明暗を分けます。

●検索エンジンの精度が上がり、何でもすぐ検索結果が出ます。しかし全てが本当の情報とは限りませんので、発信元（情報源）をよく確認しましょう。

## 友達同士、お互いに思いやりをもって使おう。

●相手が傷付くような内容を書き込むと犯罪になります。「ふざけて書き込んだだけ」では済まされません。文字による暴力は、人の命を奪うほどのダメージがあることを忘れないでください。

●相手を傷付けるつもりは無くとも、送られた文字メッセージを読んだ相手が誤解をし、怒ったり、気を悪くした…という場合もあります。送信する前に、一度自分で読み返しましょう。



**CASE1 ネットの中傷で逮捕**

少年（18歳）は、1年以上にわたりSNSに男子高校生（18歳）を中傷する書き込みをし、これに悩んだ男子高校生が自殺し、少年は逮捕された。

**STOP!** たかがネットの書き込みと思っても、中傷される側の被害者にとっては、自ら命を絶ってしまうような重大な事態に陥ることになります。

**刑法：名誉毀損**  
(3年以下の懲役若しくは禁錮又は50万円以下の罰金)